

2020 10<sup>th</sup> GRAND MASTERS HOCKEY WORLD CUP  
「併催」 Tournament Trophy TOKYO JAPAN (運営概要案)

- 1 名称 第10回 グランドマスターズホッケーワールドカップ  
(併催) トーナメント・トロフィー
- 2 主催 (公社) 日本ホッケー協会 (JHA)
- 3 公認 国際ホッケー協会 (FIH)  
世界マスターズホッケー (WMH)
- 4 主管 東京ホッケー協会 (THA)  
日本ホッケー協会マスターズ部会
- 5 期日 平成32年10月中旬～11月上旬 (11日間)
- 6 会場 東京オリンピック開催会場及び都内のピッチ 合計3～4面使用  
(JHAから東京都 東京オリパラ準備委員会へ剥離工事延期の書簡)
- 7 実施種別…「年齢」(+60 +65 +70 +75) 4部門  
国別対抗 トーナメント・トロフィー 男・女
- 8 参加国数 20ヶ国以上
- 9 参加チーム 50～60チーム
- 10 総試合数 160～180

1.1 開催意義

生涯スポーツをコンセプトとして、世界各国から60歳以上のホッケープレイヤーと関係者、ご家族等、1000人以上が参加するスポーツの祭典。

東京五輪開催後の大井ホッケー施設の活用は、将来の日本ホッケーの発展に寄与するばかりでなく、長寿健康社会の実現、シニア層へのスポーツ振興、国際交流面、更には、日本の国民にも夢と希望を与え、意義のある開催誘致である。

1.2 今後の流れ

2018年6月20日より30日の期間、スペイン・バルセロナにて世界グランドマスターズホッケー大会が開催される。(日本チームは3部門に参加予定)

大会期間中の6月26日に世界グランドマスターズ協会の総会が開催され、次回ワールドカップ2020年の開催地が審議される。これまでの慣例として、五輪開催国が、立候補して承認されるが、世界マスターズ協会の再編の環境下、従来通りに、取り進められるとは限らない。